

## 蛋白尿

---

尿中には健康な人でも微量の蛋白が含まれますが、通常より多くの蛋白が含まれる場合に指摘されます。検査には健診などで用いられる試験紙法と精密検査などで用いられる定量法があります。試験紙法で陽性と指摘されても、定量法の測定値を尿中クレアチニン濃度で補正した結果、異常なし、と判断される場合もあります。

腎炎などの腎疾患では蛋白尿の程度が重症度の目安のひとつとされています。起立性蛋白尿など体質的なものでも蛋白尿を指摘されることもありますが、自覚症状がなくても必ず主治医の先生に相談しましょう。